

議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒 894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



就任あいさつ

昨年11月の改選にて現職7名と初の女性議員2名を含む新人3名が当選し12月定例会より新体制となりました。

私共議会は、ウイズコロナ社会に適合した議会運営を行いながら、町行政の監視及び評価機能の充実強化を図ると共に、議員間の活発な議論により政策立案、提言の出来る議会へ議会改革を進めて参ります。

町当局と切磋琢磨し、町民全体の福祉の向上及び町政発展のため「町民に信頼され、品格と存在感のある新しい時代の議会」に取り組んで参ります。

町民の皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

議会議長 向野 忍

こんなことを決めました!

第4回定例会

12月10日～14日

第4回（12月）定例会では、補正予算議案10件、条例議案10件、契約議案1件、承認議案2件、同意議案1件、その他3件の計27件の議案を審議し、それぞれ可決しました。議案審議の結果は次頁に、新議会議員の構成は下記のとおりです。

新議員の議会構成

議長	副議長
向野 忍	池田 啓一

総務経済常任委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員
元井 直志	永井しずの	泰山 祐一	向野 忍	安 和弘

文教厚生常任委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員
柳谷 昌臣	福田 鶴代	池田 啓一	中村 義隆	岡田 弘通

議会運営委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員
柳谷 昌臣	元井 直志	福田 鶴代	永井しずの	池田 啓一

一部事務組合議会議員・監査委員

奄美群島広域事務組合	大島地区消防組合	大島農業共済事務組合
向野 忍	柳谷 昌臣	元井 直志
奄美大島地区介護保険一部事務組合	大島地区衛生組合	監査委員
泰山 祐一	池田 啓一	岡田 弘通

議会報編集委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
元井 直志	永井しずの	福田 鶴代	柳谷 昌臣	池田 啓一	向野 忍

補正予算

一般会計補正予算

(第8号)

歳出について

公共施設維持管理基金に積立金として1億5千万円を追加したこと。

衛生費の一般廃棄物処理施設建設事業費に3720万円を追加したこと。

教育費の小学校費に1464万5千円、中学校費に1237万円を追加したこと。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として、総務費農林水産業費、商工費、及び教育費に総額1億5441万6千円を追加した議案を審議し、原案可決しました。

歳入について

国庫支出金の総務費国庫補助金に地方創生臨時交付金として1億2169万8千円を追加したこと。

繰入金のふるさと応援基金繰入金から2561万5千円を減額した議案を審議し、原案可決しました。

専決処分

●職員の給与及び町長等の給与に関する条例の一部を改正する専決処分の承認について

人事院勧告により国家公務員の給与法の一部改正が行われたことに伴い、職員及び町長等の給与に関する条例を国に準じて改正する議案を審議し、原案承認しました。

契約

●令和2年度加計呂麻港(俵地区)改修工事請負変更契約の締結について

本事業は、令和2年6月9日、可決された事業で、主な変更点は、コンクリート打設531mの減、裏込材3623mの増、臨港道路一式の増となり、変更後の請負金額は、282万1528円増の1億2700万円となる議案を審議し、可決しました。

条例の改正

●瀬戸内町課設置条例等の一部改正について

交通政策問題へ対応するための組織再編及び庶務の移管による課名変更の改正を行うものである。「商工観光課」「水産

振興課」を廃止し「商工交通課」「水産観光課」を設置する議案について審議し、原案可決しました。

●古仁屋漁港ターミナルビル「せとうち海の駅」の設置及び管理に関する条例の一部改正について

海の駅住所を「地先」から「26-14」に改める。「指定管理者」の次に「又は、主管課長」を加える。別表中「せとうち海の駅コインパーキング」及び「駐車2時間を無料とし、以降30分毎に100円加算。1日の上限金額を1000円とする」を削り、同表備考中「5

朝9時から翌朝9時とする。」を削る議案について審査し、原案可決しました。

●瀬戸内町立学校設置に関する条例の一部改正について

平成28年4月1日以降休校している瀬戸内町立久慈小学校、久慈中学校について、校区民の意向等を確認したうえで、令和3年4月1日付けで廃止とする議案について審議し、原案可決しました。

監査委員

●地方自治法第196条1項の規定により議会議員の中から「岡田弘通」氏を選任する議案を審議し、同意しました。

瀬戸内町議会における新型コロナウイルス感染予防対策について

令和2年12月10日

1. 目的

本町における新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため感染予防対策を講じると共に、今後、町議会議員又はその同居家族（以下「議員等」という）が新型コロナウイルスに感染した場合に迅速かつ適切な対応を行い感染拡大防止に努めるものとする。

2. 感染予防対策の基本的事項

- (1) 会議等開催日の朝に自宅で検温を行い、37℃以上の場合は登庁しない。
- (2) 手洗いや手指の消毒を行うと共にマスクの着用をする。
- (3) 会議等開催にあたっては、可能な限り3密を避けると共に、会期及び発言時間を短縮する方策を講じる。
- (4) 会議室等においては常時換気を行うと共に、複数の議員及び職員が発言する箇所については発言者が入れ替わる毎に消毒を徹底する。
- (5) 議員等に症状（発熱、せき、倦怠感、頭痛、味覚障害等）がある場合は、医療機関に相談し医師他保健所の指示に従うと共に、議長に報告する。
- (6) 議員等が濃厚接触者又はその疑いがあるとされた場合には、直ちに議長に報告する。
- (7) 議員等の感染が判明した場合、議長は情報を得て直ちに全員協議会を開催し対策を講じる。又、必要に応じて議長は全員協議会を開催し、町に随時報告し情報を共有する。
- (8) 必要に応じて町に対し要望、申し入れを行う。

令和2年第4回定例会における新型コロナウイルス感染 拡大防止対策の町議会の対応について

【議会運営】

1. 本町における感染拡大防止対策について町行政が全力で専念出来るように、最大限の協力、支援をしていくため次のように議会運営を行う。
 - (1) 本会議の執行部説明員の出席は、最小限になるよう求める。
 - (2) 議案審議における質疑は必要最小限とし、発言時間は答弁を含めて30分以内とする。
 - (3) 一般質問について
質問時間は町長、教育長からの答弁を含め30分以内とする。
 - (4) 本会議場での発言は、マスクを着用したままで行う。

【検温、消毒】

2. 登庁時には検温、手洗い、手指消毒をする。

【控室での対応】

3. 議員控室においてもマスクを着用し、常に感染防止対策に留意する。

【傍聴人へのお願い】

4. (1) 発熱など風邪症状がある方や体調がすぐれない方には傍聴を遠慮下さるようお願いする。
 - (2) マスク着用をお願いする。
5. その他必要なことについては、議会運営委員会で協議を行い全員協議会に諮る。

瀬 議 第 4 6 号

令和3年1月28日

瀬戸内町長 鎌田愛人 様

瀬戸内町議会議長 向野 忍

新型コロナウイルス対策に関する緊急要望書

新型コロナウイルスの影響の中、瀬戸内町の感染拡大防止や経済対策等の推進に取り組んでおられますことに敬意を表します。

先般、新型コロナウイルス感染の拡大により、首都圏などの11都府県に対し国より2回目の緊急事態宣言が発令されました。それに伴いGoToキャンペーンも緊急事態宣言が解除されるまで停止になり、更には奄美市など県下5市を対象に飲食店の営業時間短縮が要請されました。本町の町民や事業者等にもその影響が及んでおり、なお一層の感染防止対策ときめ細かな経済及び生活支援対策が必要であると考えます。

そこで、町民及び事業者等からの要望も踏まえ、この要望書を取りまとめました。今後、地方創生臨時交付金の三次募集も始まることとしますので、政策・施策に反映していただきますようお願い申し上げます。

記

1.感染防止対策・支援

- ①ワクチン接種について迅速かつ的確な実施体制の構築
- ②PCR検査の負担金の軽減
- ③医療、介護、福祉従事者等への支援

2.経済支援

- ①観光関連事業者への支援
- ②飲食店事業者への支援
- ③小売事業者、物流事業への支援
- ④宿泊事業者や飲食店事業者へ卸をしている事業者（卸売事業者、加工業者、農林水産従事者等）への支援

3.生活支援

- ①本町出身学生への支援
- ②就業支援及び相談窓口の設置

以上

一般質問

安
和弘
議員



カケロマの人口減少

安 人口の推移

昭和30年、旧古仁屋
1万1910人
旧西方 3778人
旧鎮西 6407人
旧実久 4276人
計 2万6371人
加計呂麻1万683人
平成30年、旧古仁屋
7040人

議員でありたい。

旧西方 408人
旧鎮西 935人
旧実久 465人
計 8848人
加計呂麻 1400人

この度の瀬戸内町議会議員選挙、改選後の初議会に臨むにあたり、12月議会に於ける一般質問を行いたい。

この度、新しく議員になられた皆様、これからお互い切磋琢磨して、この町のために頑張ろう。我々議員は人格と品格を持つてこの議場に立ち、その責任の下、発言をしている。故にその言動を何人たりとも、さえぎる事はできない。「余程の事がない限り」その事をしっかりと肝に銘じ、行動をしていく。そういう

私の今回の選挙にあたっての大きなテーマは「カケロマ再生」である。歴代の6名の首長の誰もが言ってきた言葉、「カケロマなくして瀬戸内の発展はない」

最初の表で示した通り、カケロマの人口は、合併当時の十分の一に激減、その人口減少に加え、生活環境、教育、交通形態など、取り残されているという感否めない。地域の不便性の中にまで不平等があつていいはずはない。

近年の議会の中で特に悔やまれた事
一、カケロマ中学校の実現ができなかった事
一、敬老祝金、半額の議案を阻止できなかった事
いずれも議会での多数決で決まった。

最も心が病んだのは、

一、この町を二分する騒ぎにまでなった、クルーズ船の問題であった。我々議会では解決の糸口さえ見つけることができない中、カケロマ区長会、自然を守る会が動き出し、ようやくこの問題は白紙に戻った。議員としての無力さを恥じ入っている。いずれの問題も「人口減」ということに端を発しているように思えてならない。以上のことを踏まえながら質問したい。

一、カケロマの人口減少



待合所前のモニュメント

に対しての対策について

町長 本町に於ける人口減少に対する大きな柱は、住環境、雇用環境、子育て支援施策の推進という認識のもと、カケロマにおいても人口減少を最小限にとどめるよう努めていきたい。

あまみせとうち地域公社

安 町が計画している「あまみ・せとうち地域公社」について、町民にわかりやすく、説明して欲しい。

町長 平成29年4月より、農業公社設立に向け、近隣市町村の取り組み状況を調査、企画課と設立に向け協議を重ね、平成30

年12月に「ふるさと応援

基金の拡大と地域振興を図るための業務に取組み「あまみ・せとうち地域公社」として設立した。今後、雇用創出及びカケロマ農業の振興を図るため、用地交渉を進めている瀬相地区に「キビ酢村構想」として、さとうきび加工施設等の整備を進めていきたいと考えている。

安 「提言」

人口減対策と地域公社をセットで考えてほしい。本土では、コロナ禍の事もあり「仕事があれば帰りたい・・・」人が急増していると聞く。Uターン者1家族、夫婦と子供2人、4人として、計画の地域公社に関わってもらいたい。シルバーの方々の知恵を借りなが

ら・・・。大きな可能性のある公社である。サトウキビ、黒糖、キビ酢、せとうちブランドの焼酎の生産、更には、ポンカン、タンカン、パッション、マンゴー等の栽培、牛ま

元井 直志 議員

で。夢は広がる。ふるさと納税の返礼品の調達は自分達でするものである。(約5000万) 10世帯で40人。時間はかかるでしょうがそれが夢である。

年には60%減の3614人と推計されている。

元井 人口が減るとどうなるか。

町長 人口減少は、本町のみではなく、日本全国の大きな課題である。人口減少は、地域の消費や生産などの経済活動をはじめ、地域力の低下や担い手不足、既存施設や用地の遊休化など町民生活に影響を与える。

うか。

町長 令和2年3月に策



人口対策

元井 人口の見通しはど

定された奄美大島5市町村による「奄美大島人口ビジョン2020」の中に国立社会保障・人口問題研究所の統計による本町の人口見通しについて2015年から5カ年ごとに、2060年まで数値化されている。2015年には、9042人であったものが、2060

また、本町の大きな課題としては、進学や就職のための20歳前後の若年層が島外へ流出することによる年齢構造の不均衡が、全国と比較して顕著であり、このままの状態では推移すると、ますます高齢化が進展すると見込まれる。高齢化の進展は、社会保障費の増加や社会

基盤のバリアフリー化、公共交通体系の充実、産業の担い手不足対策など、多くの財政需要が発生する。また、消費するものや提供されるサービスも変化し、所得の減少による消費の減退により、地域の商店街の衰退などに繋がっていくと思われる。

町長 これまでも、人口減少や年齢構造の不均衡の対策のため、雇用の創出や子育て支援に注力してきたが、なかなか改善が見られない現状を踏まえるとその対策もこれま

元井 町の財政に及ぼす影響はどうか。

町長 人口規模は町財政運営において、重要な財源である町税への影響や、最大の財源である地方交付税への影響が大きく、予算編成全体に及ぼす影響は多大なものになると思われる地方交付税については、人口1人当たり約25万円となっている。

町の経済

元井 コロナの影響が町の経済に及ぼす部分はどうか。

町長 コロナの影響については、国の対応策により、ここ数年好調であった観光客の宿泊業が打撃を受け、それに伴い観光業、飲食業が深刻な状況に陥り、例年と比較して大幅な減収となる関係

事業者が激増する傾向にあったと認識している。また、島内及び町内にコロナ患者が発生すると、島内、町内在住者の外出自粛により、飲食業が集中的に影響を受ける状況に陥る傾向がある。世界自然遺産登録を前にこれ

まで町の経済の牽引役となっていた業種がこのような状況に陥ることにより、第2次、第3次の負の連鎖が生じ、町の経済に悪影響を及ぼしたと認識している。その対応策として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、諸施策の実施や町独自の緊急支援金の給付等を行った他、本町発注の公共工事の早期発注に努め本町における早めの景気の底上げに努めてきたところである。

永井 しずの 議員



瀬相港ターミナルビル・役場支所建設計画

永井 瀬相港ターミナルビルが建設され、その中に役場支所が入ると聞いたが、今後の計画や現段階の状況を伺いたい。

町長 平成31年2月19日に庁内組織「加計呂麻島ターミナルビル建設検討

委員会」を設置し、加計呂麻島・請島・与路島の三島民の利便性を考慮した総合施設整備を基本構想とした、最終報告を令和2年1月31日に提出したところである。「基本構想」を基に本年度中に加計呂麻島ターミナルビル建設プロジェクトチームを設置し、役場支所については、令和3年度より基本計画書、建設予定地の調査・基本設計・実設計で計画している。

町立久慈小中学校の廃校

永井 令和3年4月以降「久慈小中学校」が廃校になる様だが、その後の使い道など役場の方では検討されているのか伺いたい。

町長 久慈小中学校の利用については、平成31年2月に久慈・古志・花天・管鈍・西古見集落の区長を委員の中心とする「西方創生委員会」を創設し、西方の活性化のための利用計画を検討し、久慈小中学校を西方地区の拠点とするための海洋体験型教室、カフェ、宿泊施設等の複合施設の検討がされたが、宿泊施設としての利用に難がある等の諸問題があり、計画作成を断念した経緯がある。

郷土芸能の伝承

三味線、太鼓などは自主グループとして教室があるが、月に一度くらいでも学校の授業で取り入れる事が出来ないのか伺いたい。

永井 現在八月唄、島唄、



郷土芸能大会

教育長 現在、各学校において、総合的な学習の時間等を活用し、郷土教育として八月踊り、島唄、三味線等に取り組んでおり、多い学校では、週に1回、少ない学校においては、学期に1回の割合で実施している。方言で綴った「ゆすいぐと集」

主な大型事業

柳谷 現在進めている大型事業の事業名ごとの予算規模とスケジュールを伺いたい。



柳谷 昌臣 議員

を配布したり、郷土の知識を学ぶ「子供検定」を行っている。今後も各種団体や地域の人材の協力の下、郷土教育を推進して参りたい。

町長 現在進行中の大型事業は「一般廃棄物処理施設建設事業」が予算規模で、23億1498万円、令和2年度が最終年度となっている。

また、「高度無線環境整備推進事業」いわゆる光ファイバーケーブル設置事業が、予算規模で3億3986万5千円、令和4年度完成を目指している。

柳谷 令和3年度以降予定している新規の大型事業名ごとの予算規模とスケジュールを伺いたい。

町長 今後予定している

大型事業は、令和3年度着工予定分として「学校給食センター建設事業」が、予算規模で11億7千万円、令和4年度完成予定、「防災戸別受信機整備事業」が、予算規模で4億6400万円、令和5年度完成予定。また、現時点で予算規模や実施年度が未確定ではあるが、主なものとして「せとなみ建造事業」「瀬相ターミナルビル建設事業」「清水公園整備事業」「古仁屋小学校体育館更新事業」などを予定している。

町長 貨物海上運送の今後の見通しについては、現在民間の1事業者が運行している。しかしながら「船の老朽化に伴う代替船の建造について資金力が見込めないこと。今後船長の確保が難しい」等のため「令和6年4月」をもって貨物フェリーによる海上運送をやめ、陸上運送のみの営業にしたい。とのことだった。

町長 「フェリーかけろま」に替わる旅客船を造った場合に考えられる影響については、「フェリーかけろま」は国の補助を受けて建造されている。そのため、耐用年数（減価償却資産の耐用年数）もあり、その期間より短く「廃船」となる場合は、「補助金の返納」や「町債の一括償還」が伴うものと思われる。

また、航路そのものが「国の補助航路」となっているもので、影響が大きいものと推察される。現時点で、フェリー建造費に係る補助金等の返納額を試算すると、最大で補助金分・1億1714万4千円、町債分・4億2819万9千円と試算される。

町長 今後の交通行政の推進体制については、町内の交通機関を集約し「商工交通課」として、新しい部署に改編し業務にあたる。



停泊中の町営定期船

中村 義隆 議員

道路行政

中村 町道網野子、節子線で、節子集落の入口近くの崩壊した斜面は、半年が経過した現在もそのままの状況であるが、用地取得状況など伺いたい。

柳谷 町営定期船「フェリーかけろま」について、現在の「フェリーかけろま」に替わる旅客船を作るべきとの声が一部にあるが、その場合に考えられる影響について伺いたい。

柳谷 船舶も含めた、交

船舶事業

柳谷 貨物海上運送の今後の見通しを伺いたい。

柳谷 船舶も含めた、交



中村 町道網野子、節子線で、節子集落の入口近くの崩壊した斜面は、半年が経過した現在もそのままの状況であるが、用地取得状況など伺いたい。



現在の網野子節子線

町長 6月の梅雨前線豪雨により、被災を受けた町道網野子節子線の斜面については、現在も防護柵内に土砂が堆積している状況であり、土砂流出等の防止と通行注意喚起等の看板を設置しながら通行させている状況である。

今回、被災した斜面は民有地であることから事前に用地調査を行い、地権者の特定を行ったところである。

現在、対策に向け事業

計画を検討中であり、事業実施が決まり次第、現地の測量及び設計を行い、対策工事に必要な用地影響範囲を確認したうえで、用地交渉並びに取得の手続きを進めていきたいと考えている。

中村 国道58号線の勝浦から阿木名へのトンネル化の現状を伺いたい。

町長 国道58号勝浦阿木名間の道路整備については、平成27年度に阿木名校区（阿木名・勝浦・網野子）集落区長より陳情を受け、大島支庁瀬戸内事務所へ要望書の進達を行っている。

鹿児島県から当該区間については、トンネルなど多額の事業費を要することが予想されるものの、安心・安全な通行を

確保する必要があることから、既存事業中個所の進捗状況を踏まえ、今後検討していきたいと聞いている。「国道58号勝浦阿木名間」については、

これまでの台風接近時における高波の越波や斜面崩壊による通行障害が頻繁に発生しており、道路利用者にも多大な影響を及ぼしている状況であると認識しており、本町としても、当該区間は地域経済や町民の生活を支える重要な区間であり、トンネル化による道路利用者の安心安全の確保、アクセス改善による物流の安定化、更には各種産業の振興が図られることから、

早急に道路整備の実施を求める必要があると考えている。

今後もし引き続き、鹿児島と連携しながら、早

期に事業実施が図られるよう要望していきたいと考えている。

教育行政

中村 阿木名小学校に学童クラブは設置できないか、伺いたい。

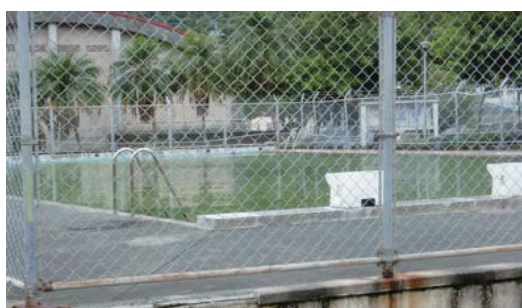
町長 放課後児童クラブは、授業の終了後や学校の休業日に施設を利用して児童に適切な遊びや生活の場を与えることにより、その健全な育成を図ることを目的として実施されている。

阿木名地区の放課後児童クラブについては、同地区で実施されている「放課後子ども教室」や古仁屋地区の児童クラブとも連携しながら、居場所づくりの確保が可能な

いか検討していく。

中村 阿木名小中学校にプール施設の設置は考えられないか伺いたい。

教育長 プールの必要性については認識し、教育施設整備計画の中でプール建設を位置付けているが、老朽化した学校施設、体育館等の整備もあることから、全体的な教育施設整備計画の中で検討して参りたい。



古仁屋小学校・屋外プール

泰山 祐一 議員



ささえ愛クーポン券

泰山 新型コロナナ支援策として行った「ささえ愛クーポン」企画の効果検証の結果を伺いたい。

町長 11月30日現在で、スーパー…1990万2500円、小売・商店…1070万9千円、飲食店…482万円、資材・



補修等…233万2千円、その他…63万3千円となっている。

中長期振興計画

泰山 西方・東方・山郷・加計呂麻島・請島・与路島の地域ごとの中長期振興計画を策定する意向があるかを伺いたい。

町長 本町は10年毎に瀬

戸内町長期振興計画を策定し、5年毎に見直し作業を行っている。

また、各集落のいろいろな要望書を随時受付、対処し、規模の大きな事業は奄振等各補助事業計画に計上し実施している。今後においては、各地区の要望の取りまとめを行うつつ、各エリアの振興計画を考え、向こう5年の計画に反映させていく形をとりたいと考えている。現段階においては、地区ごとの中長期振興計画を策定することは考えていない。

泰山 一案だが、私自身も地域おこし協力隊として活動していた。

例えば各地域で地域おこし協力隊を配置する、もしくは各集落に配置されている担当役場職員、

そして議員、地域住民で話し合いの場を定期的に設けることはできないのか。現在はコロナ禍で人が集まることが難しいので、オンラインなどの環境整備もしていき、各集落の方にもお使いいただくことは検討できないか。

町長 話し合いの場を設けるといふことですね。それは要望によってできるだけお応えできるように努めていきたい。

泰山 瀬戸内町からの委託金を伺いたい。

町長 ふるさと納税業務委託料1192万9千円、加計呂麻のいっちゃん市場業務委託料917万

8千円、合計、2110万7千円となっている。

泰山 2020年11月までの売上・利益経費を伺いたい。

町長 11月までの売上・利益はない。いっちゃん市場の11月までの売上は1548万6425円で、町への歳入は340万9651円となっている。

きび酢村構想

泰山 どのような工場を設置する計画なのかを伺いたい。

町長 製糖工場・原酢熟成貯蔵施設・きび酢製造施設多目的広場・ブランドゴルフ場・さとつきび畑等を計画している。

泰山 事業計画について伺いたい。

町長 売上目標は1億5千万円、従業員数は8名を予定している。

泰山 地域住民や事業者への説明をした上で土地の買収契約を行っているのかを伺いたい。

町長 地域住民や地元事業者土地所有者及び相続関係者へ説明を行っている。



福田 鶴代 議員



子ども子育て支援事業計画

福田 子ども・子育て支援事業計画の理念について伺いたい。

町長 平成27年3月に「豊かで美しい誇れるふるさと瀬戸内」を基本理

念とし「瀬戸内子ども・子育て支援事業計画」を策定、様々な子育て支援策を推進し、昨年妊娠期、乳幼児期から概ね18歳までの切れ目ない支援施策や方向性を示し、総合的かつ計画的に推進するために「第2期瀬戸内町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援事業に取り組んでいる。

高丘保育所

福田 高丘保育所の建設年度・建設費、過去3年間の維持管理費、エアコンの設置費・設備環境などについて伺いたい。

町長 保育所建設は昭和

41年に平屋棟を470万円、昭和57年に2階建棟を7720万円で整備。維持管理費、平成29年度8217万6千円、平成30年度、8728万9千円、令和元年度、7922万円（給料と管理費）となっている。エアコンは、平成10年から随時設置し、現在12台保有している（内2台は故障中）。昨年は、平屋棟の屋根の補修を行ったが、今後も保育環境の改善に努めていきたい。



町立高丘保育所

福田 新しく保育所を建設する考えはないか、伺いたい。

町長 2棟とも老朽化し保育環境整備の為に建替えの時期を迎えているが、周辺土地の有効活用や子育て支援拠点施設としての機能のあり方を考慮し、他の大型プロジェクトにかかる事業計画との調整を図りながら検討を進めていきたいと考えている。

福田 保育士の年齢構成、正職と会計年度任用職員の数、月平均額、保育士の数は適正なのか、募集はされて11月までに応募があるのか伺いたい。

町長 保育士の年齢構成は、20代2名、30代2名、40代5名、50代4名、60

代1名で正職5名、会計年度任用職員9名である。同平均額は、正職が25万240円、会計年度任用職員が18万333円である。現在、育休中の正職員が2名いる為、所長、主任がクラス担任を持ち、会計年度任用職員の採用等により対応しているが、支援を必要とする園児への保育提供等を考えると育休中の2名が復職した時点でも現状の保育士を維持していくのが適切だと考える。

有資格者の常勤保育士の応募はないが、短時間勤務の増員を2名行い、今後も広報紙やホームページ、職安等で随時募集を行い県外からの募集も行っていく。

フェリーかけろま・町営定期船せとなみの利用は？

福田 フェリーかけろま、町営定期船せとなみについて伺いたい。

町長 フェリーかけろまの令和元年度と令和2年度の旅客は、前年同月比77・3%で、2万3816人の減、自動車台数の前年同月比は、74・37%で、3481台の減、島内割引料金チケットの前年同月比は、83・65%で、4439人の減、島外料金チケットの前年同月比は、75・53%で1万6327人の減、町営定期船せとなみの令和元年度、令和2年度の旅客は、前年同月比は、92・79%で、2999人の減、

となっている。

福田 航路は、国土交通省で決まっているのか伺いたい。

町長 現在の航路は、国への申請により決まっている。

福田 新しい町営定期船せとなみについて伺いたい。

町長 地域住民の要望として、3人の区長からは、現在の航路を望んでいる旨「口頭」で要望があり、割引制度についても要望があったが、反映されるかについては、これからの協議事項となる。

新人議員紹介

泰山 祐一議員

令和初、そして八年ぶりの瀬戸内町議会議員選挙に初めて立候補させて頂き、初当選させて頂きました。若き力に期待をしてくださった皆様、誠にありがとうございました。

私は、清水集落出身の父と旧住用村市（いち）集落にルーツをもつ名瀬生まれの母（旧姓・染川）を両親に持ちます。私自身は、奄美で生まれ、幼少期より神奈川県で育ち、東海大学を卒業し、広告代理店等の社会人経験を積み、孫ターンで瀬戸内町地域おこし協力隊に着任させて頂き、地域おこしに携わってき

都市部で培った社会人経験や島で起業した民間事業者目線、そして地域おこし協力隊で学んだ行政視点を、議員活動に活かしてまいります。

令和の時代に入り、これから集落存続等の端境期を迎えると感じています。地域ごとに次世代へどのような形でタスキを繋いでいくのか。コロナ禍ではありますが、語らう場がとて大切になってきます。少しでも多くの方と語り合う時間をつくりたいと考えています。私たち議員は町民の皆様との共有財産です。

これからの四年間、まず新型コロナウイルスの対応、町内地域の活性化にも取り組んでいきます。ご指導ご鞭撻よろしくお願いします。

ました。

新人議員紹介

福田 鶴代 議員

私は、加計呂麻で育ち古仁屋高校を卒業した後、関西で保育士の資格を取り就職をしました。約12年間関西で暮らす中「島唄友の会」に参加し、関西在住の島の方々との交流を通して、夏は奄美の施設や青年団との交流をするようになり、交流の中で島唄踊りの素晴らしさを知りました。

車イスに座って唄を聞き涙する方、ワイド節六調に合わせて、手を招き笑顔する方々を見て、島唄踊りにはすごい力があることを学びました。青年団メンバーと結婚後、加計呂麻へUターンし一男二女にも恵まれ、秋徳

へき地保育所で働きながら子育てをしました。長男が小学校入学前に大勢の友達との学びや部活動のため古仁屋へと出てきました。その間、PTA

活動に関わりながら町内の様々な保育所で働いていましたが、高丘保育所の問題点の多さに気づき、多くの子供たちが通う保育所がこの状況でいいのかと考へ、町政に伝えていきたいと強く思い、立候補し皆様の力を借りて当選する事が出来ました。これからも島唄踊りの力を借りながら「子どもも、大人も笑顔絶やさない希望の持てる瀬戸内町」を目指して行きたいと思えますので、ご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

新人議員紹介

永井しずの 議員

私は昨年の町議会議員選挙において、皆様のご支持を受け、町政始めて以来初の女性議員として誕生させていただきました。深く感謝申し上げます。

当選した翌日、相談に来られたり、道で会った時に意見をおっしゃっていただいたりしました。私は選挙運動の際に言った様に、行政と町民との「橋渡し」になる事が一番の活動目的です。町民からの質問や要望を担当課へ繋ぎ皆様へ回答したいと思えます。時間がかかるような場合は、その理由をしっかりとお伝えしたいと思えます。

町民の誰もが支え合い、この町に住んで良かったと思える町、島の宝である子供達が安心して生活でき、地域ぐるみで見守

つていける町、必ず戻って来たいと思える町にしたいと思えます。また、人口が増えないと活気も出てきません。企業誘致を積極的に言い、ターナー家族を地域に溶け込ませる活動が大切です。近く世界自然遺産登録が予想されますが、その中には郷土芸能の伝承も含まれると思えますので「シマユムイタ教室」を作り、方言を含め伝統文化を残していく活動を行いたいと思えます。町民の皆様のご参加をよろしくお願い致します。10名の議員で切磋琢磨し議会を盛り上げていきます。

編集後記

年末年始から行事という行事は全て中止となり近年にない日々を過ごしている。

議会も今回は通常60分の一般質問も30分に短縮し集中審議と相成った。ということでも今回の議会報は前回とは少々変化があります。

新進気鋭の新人の皆さんと、ああでもないこうでもないという原稿を前に議論しながら作り上げました。

コロナ禍が未だ収束しない中、新年を迎えました。読者諸氏においてはさらに用心をしていただきたい。議会も緊張感を持ちながらコロナに備えています。

元の状態に戻れるのはいつのことやら。今は忍んで耐える時か。皆様の非日常が日常に早く戻れるのを祈りつつ。

議会報編集委員会

- 委員長 元井 直志
- 副委員長 永井しずの
- 委員 福田 鶴代
- 委員 柳谷 昌臣
- 委員 池田 啓一
- 委員 向野 順一